

事業の概要

帯広開発建設部では、十勝管内における高規格幹線道路や一般国道8路線753kmの維持管理を行っています。また、北海道横断自動車道及び帯広・広尾自動車道の整備を進めています。

第8期北海道総合開発計画を踏まえ、「食料供給基地としての持続的発展」、「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成及び「強靱な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成」等の主要施策を推進することとしており、特に、北海道の強みである「食」や「観光」に関連する分野での成長と競争力の強化、地域社会に活力をもたらす「生産空間」・「基礎圏域」の保持・形成を図るための基盤整備を進めていきます。

食料供給基地としての持続的発展及び世界水準の観光地の形成を目指す地域社会の形成

● 広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

広域的な交流・連携の確保、生産地や観光地、空港・港湾等とのアクセス強化により、農林水産業・観光産業など地域産業を支える高規格幹線道路等の整備を推進します。

● 「生産空間」の生活を支える「道の駅」の活用・充実

制度発足から26年、「道の駅」は全国各地に広がっており、管内では、道内唯一のモデル「道の駅」(地域交通拠点部門)「あしよる銀河ホール21」(足寄町)を始め、全14駅が登録されています。「生産空間」の維持・発展のため、地域公共交通の交通結節点や、日常生活に必要なサービスを提供する場として活用する等、人流・物流の交通ネットワークと日常生活機能を保持する取組を実施します。

● 世界水準の観光地の形成

ドライブ観光を推進する「十勝シーニックバイウェイ」による魅力ある観光空間づくりを支援するとともに、安全で安心な外国人観光客のドライブ観光推進のため、外国語での道路情報提供やパンフレットの作成・配布を行います。また、サイクルツーリズムを推進するため、モデルルート「トカプチ400」における試行を通じ、サイクリストの受入環境の改善及び情報発信を行うとともに、安全で快適な自転車走行環境を創出します。

強靱な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成

● 冬期交通の安全確保と暴風雪災害時におけるきめ細かな地域支援

安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため、気象や交通状況を踏まえた効果的な除排雪作業を実施します。また、関係機関で組織する道路防災連絡協議会で相互の連携強化を図り、自治体支援のための除雪機械貸付やリエゾン*派遣による災害関連情報の共有などの支援体制構築を継続的に実施します。

*リエゾン：現地情報連絡員のこと。重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として自治体等へ派遣する職員。

● 道路施設の老朽化対策

各種道路施設が有する機能を長年にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進するとともに、地方公共団体における老朽化対策への技術支援等を実施します。

● 道路の防災・震災対策

救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路の強化や代替性確保のための高規格幹線道路の整備、道路斜面等の防災対策を推進します。

● 交通安全対策の推進

ビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間等を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプランを推進します。

● 無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、地域住民や電線管理者等と連携し、音更町の国道241号において、無電柱化を推進します。



北海道横断自動車道網走線の橋梁上部架設工事
(陸別一陸別小利別間)



国道241号における除雪状況(音更町)



斜面からの落石を防ぐ 国道336号 襟広防災

道路の異常を発見したら…

24時間受付中 **道路緊急ダイヤル #9910** (全国共通番号)

☑ **通行止情報メール配信サービス**

<http://info-road.hdb.mlit.go.jp/>

- 通行止め区間の路線名、場所、日時、原因などをお知らせします。
- 通行止めの実施時と解除時にメールを配信します。

シーニックバイウェイ北海道

みちをきっかけに地域、企業、行政等が連携し、景観をはじめとした地域資源の保全・改善の取り組みを進めることにより、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを図る「シーニックバイウェイ北海道」を平成17年度より開始しています。十勝管内では3ルートが活動しています。

十勝シーニックバイウェイと主な活動内容

指定ルート
候補ルート

十勝平野・山麓ルート

トカプチ雄大空間

南十勝夢街道

「人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト」事業

不要看板再生事業

チケット事業

シーニックカフェ事業

くわしくはシーニックバイウェイ北海道推進協議会HPをご覧ください
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/ud49g700000n0ut.html#fs0>

「道の駅」の活用・充実

モデル「道の駅」(地域交通拠点部門)
「あしよる銀河ホール21」

世界水準の観光地の形成

モデルルートで路面標示等の
走行環境の整備・改善を推進

● 平成30年度 道路事業の概要

● 広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

路線・地区名	主要事業
E60 帯広・広尾自動車道(国道236号)	大樹広尾道路(忠類大樹〜豊似)
E61 北海道横断自動車道網走線	足寄〜北見
● 道路施設の老朽化対策	
国道38号ほか	橋梁補修
● 防災対策・震災対策	
国道242号	足寄橋架替
国道336号	襟広防災
● 交通安全対策	
国道38号	新得基線路肩改良
国道38号	道道忠別清水線交差点改良
国道241号	音更大通事故対策(電線共同溝含む)
国道242号	道道本別留辺線交差点改良
国道274号	瓜幕事故対策